



～4学年授業研究～

11/19(木)は、4学年の授業研究会でした。事後研では、麻布教育研究所の永島先生より、新しい授業研究の在り方についてご指導をいただきました。

単元名「大好き、大東！」

～すてきな大東をさらにすてきにするために自分たちができること～
学年テーマ「伝えたい！自奉楽のみりよく」

成果

- 「〇〇して～へ伝えたい」という視点をもたせることで考えやすく、まとめやすくなっていた。
- KJ法で各自の考えや願いを共有し、さらに具体的なプランを立てていったところがよかった。各グループで個々を大事にしながらかつ約したり、深めたりする姿が見られた。
- KJ法やピラミッドチャートの活用が子ども達も慣れていて、とても分かりやすかった。
- グループで出された意見をピラミッドに整理していく時に、教師が選ぶポイントを提示したことで、方向がずれずに、まとめていくことができていた。
- 子ども達のつぶやきや反応がよかった。

課題

- 話し合いをすることが苦手な児童への配慮をどうすべきか。(例えば、資料を準備するなど)
- グループ＝話し合いではない。黙々とやりながら、必要なら他者と関わる。

～永島先生のご指導から～

- ☆ 全体授業は、授業者のスキルアップを目指すものではない。参観者が力をつけるための時間と捉えてほしい。
- ☆ 主体的・対話的で深い学びは、会話禁止でもできてしまう。自分のペースで学べていることが大事。
- ☆ 月2回の全体授業。観察だけでは学べない。8人以上が参観し、授業直後に協議する。

